

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号4-17

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	自治会運営補助金			
評価者	担当課・係名	住民生活課・住民活動係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	佐藤直人	氏名
				職名
				係長
				氏名
				藤川勝利
事業の概要	各自治会の街灯施設の維持・補修を図るため、街灯電気料金相当額補助、街灯修繕経費補助、街灯新設経費補助を行っている。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進～	
	基本政策	22	住民主体のまちづくりの推進	
	単位施策	1	地域づくり活動の促進	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	4,997千円	4,411千円	4,500千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	4,997千円	4,411千円	4,500千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	住宅地が広がっていく中で、街灯が無い地区の防犯上の問題が生じる。		補助対象自治会数	
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	ある程度の戸数がある住宅地においては街灯を設置し、防犯に努める。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	地域環境を向上させ、犯罪の発生を防止する。		① 補助対象自治会数 /補助の対象としている自治会数(全自治会)	目標年度 19年度 目標値 35 実績値 35 達成度 100%
		②	目標年度 年度 目標値 実績値 達成度 %	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)				
①街灯電気料相当額の補助	各自治会で支払っている街灯電気料相当額を補助金として交付。			
②街灯修繕料への補助	各自治会で街灯の修繕に要した経費に対し補助金を交付。(全自治会分として150千円を全経費で按分し交付。)			
③街灯新設経費への補助	各自治会で街灯の新設に要した経費に対し補助金を交付。(基本補助率60%で補助総額を250千円限度として交付。)			

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	地域の安全確保、防犯上の観点から、安全で暮らしやすい地域づくりのために必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	当該事業を実施したことにより、13自治会で補修、1自治会で新設があり、地域の防犯環境が保持された。
有効／概ね有効／課題あり		

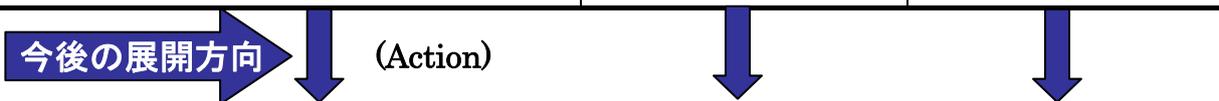
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	この事務事業の大部分は街灯電気料金相当額の補助であるが、最近の原油価格の上昇に伴う電気料金の値上がりがあるため、事業費等の抑制には繋がらなかったが、地域の防犯環境は保持された。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
地域の防犯環境を保持・向上させるため、地域へのバックアップが必要と思われ、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続／現状維持		
今まで同様に街灯電気料金相当額補助、街灯修繕経費補助、街灯新設経費補助を行うものとするが、事業を一層効果的なものとするため、不要となった部分の街灯の地域内移設を推進することとする。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号4-18

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	雄武町自治会連合会補助金			
評価者	担当課・係名	住民生活課・住民活動係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	佐藤直人	氏名
				職名
				係長
				氏名
				藤川勝利
事業の概要	自治会相互の連携を図り、その活動を通じて住民生活の向上を図るもので、その中心となる自治会連合会に対し、活動補助を行っている。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進～	
	基本政策	22	住民主体のまちづくりの推進	
	単位施策	1	地域づくり活動の促進	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	250千円	250千円	250千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	250千円	250千円	250千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町自治会連合会	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	全自治会の65%ほどしか加盟しておらず、全自治会の集合体とはなっていない。		加盟自治会数		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	町内の全自治会が加盟し、単位自治会の集合体として地域づくり活動を担う組織として機能する。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	各自治会のまとめ役として、行政との連携や自治会間の問題解決を図る組織となる。		① 加盟自治会数	目標年度	19年度
			目標値	2.4	
			実績値	2.3	
			達成度	95.8%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①運営補助金の交付	自治会連合会の安定運営を図るため、独自活動を行うための運営費補助を行った。				
②					
③					

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	会の安定運営のために必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	加盟する自治会数の増加を目指したが、新規加盟はなく、今後も運動を強化して取り組む必要がある。連合会事業の市街地区敬老会開催や自治会対抗パークゴルフ大会開催、共済加入については予定どおり実施された。
有効／概ね有効／課題あり		

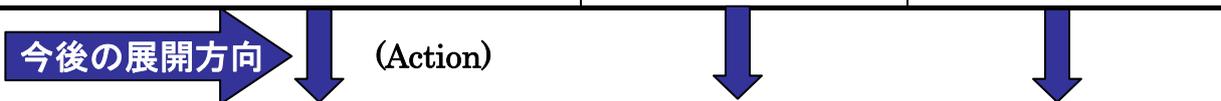
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	この事務事業は運営補助金であり、概ね対応する事業は実施された。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A	A	
単位自治会の集合体として地域づくり活動を担う組織として機能するよう、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続／現状維持	継続／現状維持	
未加盟自治会の加盟促進と全町的な地域づくり活動の展開を考慮し、今まで同様に運営費補助を行うこととする。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号4-19

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	交通安全対策特別事業			
評価者	担当課・係名	住民生活課・住民活動係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	佐藤直人	氏名
		職名		係長
		氏名		藤川勝利
事業の概要	交通安全対策特別交付金により、道路環境の整備を図ることを目的とし、車両通行により視認しにくくなった区画線の塗装や、スノーポールや標識等の設置を行っている。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	
	基本政策	20	防犯・交通安全の推進	
	単 位 施 策	2	交通安全対策の推進	
	事務事業の種類	□自治事務		■法定受託事務
	その他計画・根拠等	交通安全対策特別交付金等に関する政令		
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	1,400千円	1,400千円	1,300千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	0千円	3千円	0千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	道路環境が交通事故発生 の要因の一つとなっている。		区画線塗装10,700m ポール等購入120本		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	路側帯やセンターライン、 路肩を明確にし、道路環境を 整備する。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	交通事故の減少。		① 塗装 /区画線塗装延長	目標年度	19年度
			目標値	10,700m	
			実績値	10,815m	
			達成度	100%	
			② ポール等購入 /購入本数	目標年度	19年度
				目標値	120本
				実績値	76本
				達成度	63.3%
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①道路区画線の塗装	町内舗装済町道をパトロールし、区画線が薄くなり視認しにくい場所を確認するとともに交通量等を勘察した上で、塗装路線を選定し区画線塗装を行った。				
②スノーポールの購入	毎年、冬期間に向け路肩に設置するスノーポールについて、除雪作業等による損傷があるため、これを購入し更新しているものです。				
③					

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	事業の原資は交通安全対策特別交付金であり、これは道路環境整備の目的に使用することとなっている。また、町道の環境維持は道路管理者である町が行うべきものである。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	スノーポールの購入本数は目標を下回ったものの、購入するポールの種類によって本数が大きく増減するものであり、破損内容により計画的な購入を行っている。また、近年交通事故件数は減少傾向にある。
有効／概ね有効／課題あり		

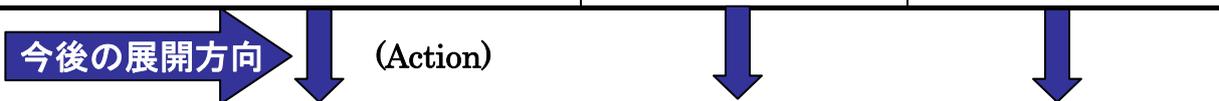
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	道路延長は伸長傾向であるが、交通量を勘案するなど原資である交通安全対策特別交付金を有効に活用しており、コストに見合った効果が得られている。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
全国で交通事故の減少を目指している中で、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続／現状維持		
今まで同様に、必要路線に対し整備を行う。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項

原資となる交通安全対策特別交付金は、道路延長のほか事故発生件数等の指数により交付されるため、交付額が減少傾向にある。
--

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号4-20

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	雄武町暴力追放運動推進協議会活動補助金			
評価者	担当課・係名	住民生活課・住民活動係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	佐藤直人	氏名
				係長
				藤川勝利
事業の概要	暴力団排除運動を推進している雄武町暴力追放運動推進協議会の運営に補助している。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	
	基本政策	20	防犯・交通安全の推進	
	単位施策	1	防犯体制の強化	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	45千円	45千円	45千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	45千円	45千円	45千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	イベントにおける暴力団関係者の排除。		暴力追放運動推進団体数		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	町内において暴力団が活動できない環境をつくる。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	暴力団が関与しない安心な町を実現する。		① 団体の安定運営 /暴力追放運動推進団体の運営継続	目標年度	19年度
			目標値	1団体	
			実績値	1団体	
			達成度	100%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①活動運営に対する補助	暴力追放運動推進団体活動の安定継続を図るため補助金を交付。				
②					
③					

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	暴力団が関与しない安心な町づくりを推進する上で、活動の中心となる団体として重要であり、会の安定運営のために必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	町内イベントへの暴力団関係者の関与はなく、会の運営も安定していることから有効である。
有効／概ね有効／課題あり		

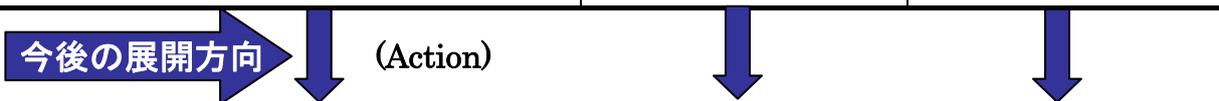
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	イベント等への露店出店者から暴力団関係者を排除するばかりではなく、露店出店者へのゴミ分別等の指導も行っており、効果は大きいものである。また、会員の中から寄付金を募って活動資金に充てており、事業費抑制の効果もある。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
現在の暴力団が関与しない安心な町づくりを継続するためにも、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続／現状維持		
町民にとって安心して暮らすことのできる町を実現するため、暴力団排除運動に対する補助を現状維持で継続することが適当である。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号4-21

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	雄武町防犯協会補助金			
評価者	担当課・係名	住民生活課・住民活動係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	佐藤直人	氏名
				係長
				藤川勝利
事業の概要	地域防犯運動の中心となっている防犯協会の運営に補助している。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業 □非登載事業		
	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	
	基本政策	20	防犯・交通安全の推進	
	単位施策	1	防犯体制の強化	
	事務事業の種類	■自治事務 □法定受託事務		
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	160千円	156千円	150千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	160千円	156千円	150千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	犯罪発生数の減少。		犯罪発生件数		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	町内において、犯罪が起きない・犯罪を起こさない環境をつくる。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	犯罪のない明るい町を実現する。		① 犯罪発生件数 /犯罪発生皆無を目標とする	目標年度	19年度
			目標値	0件	
			実績値	13件	
			達成度	%	
			②	目標年度	
				年度	
				目標値	
				実績値	
				達成度	
				%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①活動運営に対する補助	防犯推進団体活動の安定継続を図るため補助金を交付。				
②					
③					

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	犯罪のない町づくりを推進する上で、活動の中心となる団体として重要であり、会の安定運営のために必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input checked="" type="checkbox"/> 下回る	犯罪発生皆無の実現には至らなかったが、町民の防犯意識の向上を図ることはできたと考える。会の運営も安定していることから有効である。
有効／概ね有効／課題あり		

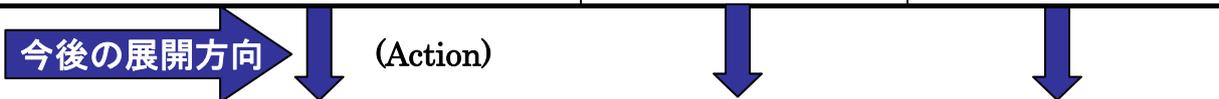
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	関係団体や警察とも協力して、児童に対する啓発や歳末啓発などを行っており、コストについても削減傾向である。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
防犯活動の中心となる団体であることから、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続／現状維持		
犯罪のない明るい町を実現するため、防犯運動に対する補助を現状維持で継続することが適当である。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号4-22

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	雄武町交通安全協会補助金			
評価者	担当課・係名	住民生活課・住民活動係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	佐藤直人	氏名
				職名
				係長
				氏名
				藤川勝利
事業の概要	地域交通安全運動を推進している交通安全協会の運営に補助している。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	
	基本政策	20	防犯・交通安全の推進	
	単位施策	2	交通安全対策の推進	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	170千円	166千円	150千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	170千円	166千円	150千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	人身事故、物損事故ともに減少傾向ではあるが、犠牲者は出ている。		人身事故発生件数								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	交通事故発生件数の減少。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	交通人身事故のない町を実現する。		① 人身事故発生件数 /人身事故発生皆無を目標とする	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>19年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	19年度	目標値	0件	実績値	4件	達成度
目標年度	19年度										
目標値	0件										
実績値	4件										
達成度	%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①活動運営に対する補助	地域交通安全運動団体活動の安定継続を図るため補助金を交付。										
②											
③											

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	交通事故のない町を目指す上で、地域に根ざした活動が重要であり、その実践団体の安定運営のために必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input checked="" type="checkbox"/> 下回る	交通人身事故発生皆無の実現には至らなかったが、各地域で交通安全運動に取り組むことにより、個人の交通安全意識の向上が見られ、会の運営も安定していることから有効である。
有効／概ね有効／課題あり		

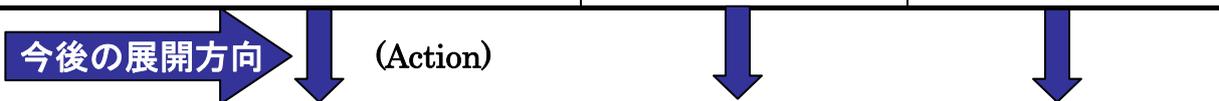
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	関係団体や警察と協力して活動する中で、ある程度のコストは削減できている。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
地域交通安全活動の中心となる団体であることから、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続／現状維持		
人身事故のみならず、交通事故のない町を実現するため、地域交通安全運動に対する補助を現状維持で継続することが適当である。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号4-23

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	興部地区交通安全協会連合会負担金			
評価者	担当課・係名	住民生活課・住民活動係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	佐藤直人	氏名
		職名	係長	氏名
			藤川勝利	
事業の概要	雄武町、興部町、西興部村を対象地区として運転免許証の各種申請代行や免許更新時講習、交通安全啓発活動を行っている興部地区交通安全協会連合会の安定運営のため、運営費負担をしている。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	
	基本政策	20	防犯・交通安全の推進	
	単位施策	2	交通安全対策の推進	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	766千円	743千円	720千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	766千円	743千円	720千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	会員加入率が低下しており自主財源が減少している。		地区交通安全協会連合会数		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	地域住民の利便性向上や交通安全運動の推進のため、会を安定運営することが必要。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	会の安定運営が図られ、広域の交通安全活動の充実や、利用者の利便性を向上させる。		① 団体の安定運営 /地区交通安全協会連合会の運営継続	目標年度	19年度
			目標値	1団体	
			実績値	1団体	
			達成度	100%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①活動運営に対する補助	地区交通安全協会連合会の安定運営を図るため負担金を支出。				
②					
③					

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	広域の交通安全活動団体として、また免許証の各種手続の代行窓口として地域住民に必要な団体であり、その安定運営のために必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	新たに免許証更新時に必要な顔写真撮影事業を開始するなど、利便性の向上と自主財源の確保を図っており、会の運営も安定していることから有効である。
有効／概ね有効／課題あり		

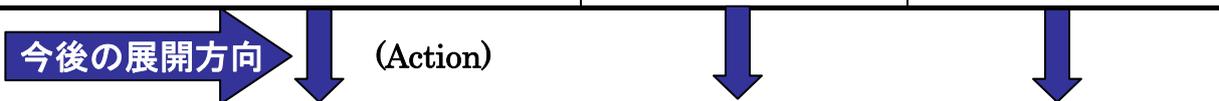
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	年次計画を立てコスト削減に努めており、各町村の負担金額は減少している。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
現時点でも負担金額の減額を盛り込んだ計画としているため、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続／現状維持		
地区交通安全活動の推進とともに、免許証更新事務関係で利便性の向上が図られる団体であることから、コスト削減を含んだ現状維持で継続することが適当である。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号4-24

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	興部地区防犯協会連合会負担金			
評価者	担当課・係名	住民生活課・住民活動係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	佐藤直人	氏名
		職名	係長	氏名
			藤川勝利	
事業の概要	雄武町、興部町、西興部村を対象地区として防犯活動を推進している興部地区防犯協会連合会の安定運営のため、運営費負担をしている。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	
	基本政策	20	防犯・交通安全の推進	
	単位施策	1	防犯体制の強化	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	207千円	186千円	186千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	207千円	186千円	186千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	広域での防犯活動の実施。		地区防犯協会連合会数		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	地域住民の防犯意識の高揚や地域安全運動の実施のため、会を安定運営することが必要。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	会の安定運営が図られ、広域の防犯・地域安全活動の充実を図る。		① 団体の安定運営 /地区防犯協会連合会の運営継続	目標年度	19年度
			目標値	1団体	
			実績値	1団体	
			達成度	100%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①活動運営に対する補助	地区防犯協会連合会の安定運営を図るため負担金を支出。				
②					
③					

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	広域の防犯活動団体として、共通する問題・事案に対応するために必要な団体であり、その安定運営のために必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	会の運営が安定し各種事業を展開していることから有効である。
有効／概ね有効／課題あり		

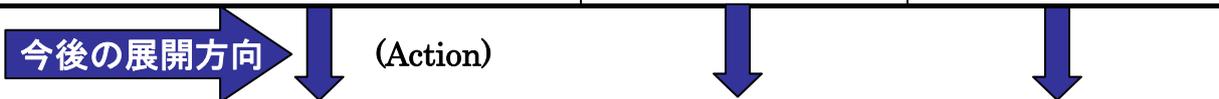
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	各町村からの負担金額については平成17年度から平成19年度までの3年間で計画的に減額している。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当
 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要
 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
3年間で負担金額の減額を実施しており、その上で安定運営できることから、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続／現状維持		
これからも地域の防犯活動の推進に必要な団体であり、現状維持で警備区することが適当である。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合
 終了
 休止
 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号4-25

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	雄武町交通安全推進委員会補助金			
評価者	担当課・係名	住民生活課・住民活動係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	佐藤直人	氏名
				職名
				係長
				氏名
事業の概要	雄武町の交通安全に係わる住民の育成並びに、幼児、児童、高齢者への交通安全思想の高揚を図るため、普及、啓蒙を推進する団体である交通安全推進委員会の運営に補助している。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	
	基本政策	20	防犯・交通安全の推進	
	単 位 施 策	2	交通安全対策の推進	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	370千円	370千円	370千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	370千円	370千円	370千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	人身事故、物損事故ともに減少傾向ではあるが、犠牲者は出ている。		人身事故発生件数								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	交通事故発生件数の減少。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	交通人身事故のない町を実現する。		① 人身事故発生件数 /人身事故発生皆無を目標とする。	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>19年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	19年度	目標値	0件	実績値	4件	達成度
目標年度	19年度										
目標値	0件										
実績値	4件										
達成度	%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①活動運営に対する補助	雄武町全体での交通安全運動を行う団体活動の安定継続を図るため補助金を交付。										
②											
③											

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	交通事故のない町を目指す上で、全町体制での交通安全への取組みが必要であり、その中心となる団体の安定運営のために本事業は必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input checked="" type="checkbox"/> 下回る	交通人身事故発生皆無の実現には至らなかったが、幼児、児童、高齢者を対象とした交通安全活動を行っており、会の運営も安定していることから有効である。
有効／概ね有効／課題あり		

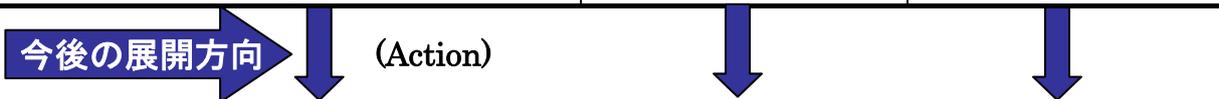
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	関係諸団体や警察とも協力して活動を推進しており、コストの削減に努めている。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
雄武町の交通安全に係る住民の育成並びに、幼児、児童、高齢者への交通安全思想の高揚を図るため、普及、啓蒙を推進する団体であることから、計画どおり事業を進めることが適当し判断する。		



継続／現状維持		
人身事故のみならず、交通事故のない町を実現するため、全町的な交通安全運動に対する補助を現状維持で継続することが適当である。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号4-26

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	防災行政無線(同報系)整備事業			
評価者	担当課・係名	住民生活課・住民活動係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	佐藤直人	氏名
				係長
				氏名
事業の概要	雄武町の海岸沿い集落を中心に防災行政無線(同報系)を整備し、津波災害等の防災システムとして活用するための基本設計事業である。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	
	基本政策	19	消防・救急・防災体制の強化	
	単 位 施 策	2	応急体制の強化	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	一千円	802千円	3,003千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	一千円	802千円	3,003千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	避難勧告等を該当住民に即座に伝達する手段がなかった。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	避難勧告等を一刻でも早く住民に伝達し、避難行動開始を早める。		①	目標年度	年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	避難が遅れたことによる被災者を皆無にする。		②	目標値	実績値
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①基本設計の実施	防災行政無線(同報系)の整備内容を固める基本設計を実施した。				
②					
③					

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	無線放送設備整備のため、専門業者による基本設計が不可欠であり、本事業は必要であった。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	本事業で基本設計を行ったことにより、次の段階の実施設計へと事業推進が図られる。
有効／概ね有効／課題あり		

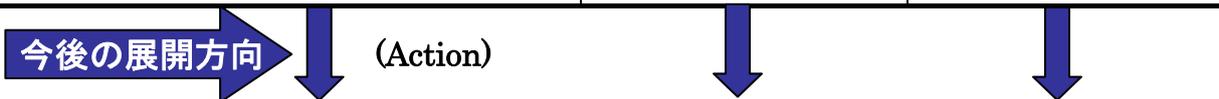
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	見積合せにより受託業者を選定し、より安価で実施するようになった。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
住民に一齐に情報を伝達できる防災行政無線 (同報系) 施設整備は、防災対策にとって重要なものであり、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続／現状維持		
年次計画により実施設計、本工事と実施するため、現状維持で継続することが適当である。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合
 終了
 休止
 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号4-27

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	道路防災WAN情報共有システム整備事業			
評価者	担当課・係名	住民生活課・住民活動係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	佐藤直人	氏名
		職名	係長	氏名
			藤川勝利	
事業の概要	網走開発建設部で整備した網走地方防災情報共有WANに参加し、国道や河川の画像やデータを閲覧することができるように建設水道課と消防支署に端末装置等を整備したものです。			
事業の位置付け	第5期総合計画	<input type="checkbox"/> 登載事業 <input checked="" type="checkbox"/> 非登載事業		
	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	
	基本政策	19	消防・救急・防災体制の強化	
	単 位 施 策	2	応急体制の強化	
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総 事 業 費	一千円	708千円	一千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	一千円	708千円	一千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	防災・救急担当者	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	国道や河川の状況、通行規制情報等について、現地や問い合わせにて確認するしかなかった。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	現地に行かずとも状況が把握でき、早期対応ができる。		①	目標年度	年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	防災・救急活動の迅速化が図られる。		②	目標年度	年度
			目 標 値	
			実 績 値	
			達 成 度 %	
			目 標 値	
			実 績 値	
			達 成 度 %	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
① 端末装置等の購入・設置	国道や河川の状況の確認のため建設水道課に、救急出動時の国道の状況確認のため消防支署に、それぞれ端末装置(パソコン)等を購入し、設置した。				
②					
③					

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	この共有システムは防災関係機関しか参加できず、国道や河川の状況、通行規制情報等について、現地や問い合わせにて確認するしかなかったものが、即時に情報を得ることができ、防災対策に有用である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	幸いにも整備後に防災対応による活用はないが、津波警報が発表された場合は海を監視することができるなど、活用の幅は広い。
有効／概ね有効／課題あり		

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	網走開発建設部で整備したシステムを共有という形で利用するため機能は制限される部分はあるが、初期投資は端末装置等の購入・設置に対する経費しか必要とせず、将来的にも多額の経費はかからないものであり、同様のシステムを単独整備する場合と比較して低額で済むものである。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
整備にあたっては計画どおり事業を進めることができた。		

今後の展開方向

(Action)

終了		
本事務事業による整備は平成19年度で終了した。		

* 展開方向の区分

継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合
 終了
 休止
 廃止

5 その他特記事項